

中央本部は、各政党への要請・懇談をはじめました

## □国民新党／2月16日

同党本部で事務局長の斉藤豊さんが応対。“年金者はもっと怒れ!! 4万、5万の年金でどうやって生活できるのか、何が100年安心か…” お連れ合いの国民年金が4万そこそこだとかで、私たちの申し入れを受けて改めて怒り心頭という感じ。

3.19集会への協力も約束。“できれば自見さんに行って頂こうと思います”ということでした。

## □日本共産党／2月17日

代々木の党本部を訪問。労働局次長の米沢幸悦氏と社会保障対策委員会の谷本諭氏が応対。同党は、前日に発表した09年度予算案の組み替え要求の中で『年金などの水準を物価高騰にあわせて引き上げる』ことを明記しており、要請の内容を快く受け入れてもらいました。国会では、共産党への質問の割り当て時間が少ないので、雇用問題を中心にせざるを得なくなっているが、今後年金も取り上げるようにしたいとのことでした。また、同党本部にも「年金はなぜ上がらないのか」という怒りの電話が頻繁にかかっていることも紹介されました。介護保険、後期高齢者医療制度、保険証の取り上げ問題等広く社会保障全般に話が及び、ともに運動を強めることを確認しあいました。

各地で進む宣伝・署名行動

## □1時間で120筆／神奈川・平塚支部女性の会

2月11日、総勢20人（うち男性は手伝いの4人）で。オレンジブルゾンで支部組合旗、中央本部作成のカラーポスターなどを掲げ、古布サークルの人たちも手作りのリホーム作品を着て参加。組合へのお誘いパンフに支部の連絡先のゴム印を押して60枚ほど配布。3月からは仲間づくり月間の準備入り。高齢者の要求実現と30もあるサークルをさらに充実させて、「楽しさづくりも要求実現でも頼りになる支部」づくりをめざしています。

## □中高生もおじいちゃん、おばあちゃんのためなら…と／千葉佐倉支部

毎月第2水曜日と25日に街頭宣伝・署名活動を実施していますが、2月11日の行動では、特に対話はずみ、1時間で98筆集まりました。

このニュースはホームページにも載せてあります。

生活危機突破・3%、8万円要求  
全日本年金者組合

**中央闘争本部ニュース**

NO.3 / 09.2.18